

介護分野における今後のエビデンスの蓄積に向けて収集すべき情報について (議論のとりまとめ) (案)

1. はじめに

科学的裏付けに基づく介護にかかる検討会（座長：鳥羽研二 国立長寿医療研究センター理事長）は、第2回（平成29年10月26日）、第3回（同年11月7日）、及び第4回（同年12月21日）において、介護分野における今後のエビデンス蓄積のために、介護現場等からどのような情報を収集すればよいか検討した。

介護領域には、介護保険総合データベース、通所・訪問リハビリテーションの質の評価データ収集等事業によるデータベース（Monitoring & Evaluation for Rehabilitation Services for Long-term Care, VISIT）といった既存のデータベースがあるが、それらで収集されていないものを補完的に収集することによって、介護領域におけるエビデンス構築により資すると考えられる。この、既存のデータベースを補完するデータベースをCHASE（Care, Health Status & Events）と名付け、その具体的な内容を検討してきた。以下は、検討の経緯及び成果をとりまとめたものである。

2. これまでの検討の経緯について

平成29年10月26日 第2回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の前提となる情報、検討の方針及び枠組み ・栄養について
平成29年11月7日 第3回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションについて ・（主に介護支援専門員による）アセスメントについて ・介護サービス計画（ケアプラン）について
平成29年12月21日 第4回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について ・利用者の満足度について ・リハビリテーション以外の介入の情報について

3. CHASEの仕様案について

(1) CHASEの仕様にかかる基本方針について

データベース用いた研究の利便性、正確性を考慮すれば、CHASEに求められる情報は必然的に幅広くなる。一方、介護現場の業務負担の軽減が喫緊の課題とされている現状に鑑みれば、データ収集の負担は極力少なくすることが求められる。

これらのことから、まず、

- ・ 対象となる事業所の大部分で既に電子的に取得されている情報
- ・ 一定程度の事業所において既に電子的に取得されており、その方法が簡便であって、他の事業所でも容易に導入、実施できると思われるもの

を格納することを原則とした初期仕様を策定し、その後当該の初期仕様をバージョンアップしていくこととした。

(2) CHASE の初期仕様案の具体的な策定方法について

- ① 各開催において、構成員から提案された項目について、「研究利用の重要性」及び電子介護記録ベンダーへのヒアリング結果に基づく「データ利用の可能性」の2点から評価し、一定の基準を超えたものを収集することとした。
- ② 主に介護支援専門員によるアセスメントデータについては、比較的シェアが高い方式によるものを収集するとともに、研究において、異なるアセスメント方式によってとられたデータでも相互に比較できるよう、アセスメントデータを共通のフォーマットへ変換したのも格納することとした。
- ③ 介護報酬の加算等の算定において求められる様式は電子化されている割合が高いことから、それらのうち分析しやすいと思われる項目（数値を求めているもの、コード化されているもの等）を収集することとした。
- ④ 利用者に対するサービスの提供内容のうち、リハビリテーション以外の内容については、「訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について（平成12年3月17日老計発第10号）」における身体介護、生活援助のコード分類に基づいて、訪問介護事業所における電子記録等から収集することにした。

(3) CHASE の初期仕様案について

(1) の方針に基づき、(2) の方法によって策定した CHASE の初期仕様案を別紙1に示す。

4. 今後の課題について

(1) 現時点では収集が困難であるが、将来的に収集が有意義と思われる項目について

検討会の構成員から提案されたデータ項目のうち、現時点では収集が困難であるものの、将来的に技術革新等によって収集が容易となれば収集すべきと思われる項目を別紙2に示す。本検討会では、技術革新等の状況を踏まえつつ、適時、今回作成した仕様案の更新について検討していく。

(2) データベースの活用等にかかる事項について

CHASE を含めた介護分野のデータベースの活用に係る事項等、科学的裏付けに基づく介護を推進していく上で引き続き検討が必要な内容について、本検討会で検討を行っていく。